

2020 年秋期に沖曳網で採捕されたヒウオの体長とふ化日組成

久米弘人・松田直往

1. 目的

漁業者が使用する目合いの小さな沖曳網を用いた試験操業により、採捕されたヒウオの体長やふ化日を調査した。

2. 方法

2020 年 11 月 18 日に、沖曳網漁業を操業している漁業者を備船し、野洲市菖蒲沖、高島市萩の浜、沖島沖で調査を実施した（図 1）。採捕に用いた沖曳網は袋網の網目が 2 mm のもの（図 2）を用い、曳網速度は 0.3~0.4m/秒であった。また曳網距離は場所に応じて変え、140~200m であった。曳網は各地点で 2 回行

った。採捕されたヒウオは曳網ごとに尾数、体型を測定し、1 曳網あたり 30 個体ずつ耳石を取り出し、その日周輪からふ化日を推定した。

3. 結果

1 曳網あたりのヒウオの採捕尾数は 181~13,763 尾であり、同地点においても大きく変動した。平均体長は 24.3 mm~31.4 mm で全体の平均体長は 27.4mm であった（表 1）。沖曳網で採捕されたヒウオのふ化日は、9 月 9 日から 10 月 13 日までの範囲にあり、多くが 9 月下旬にふ化したものであった（図 3）。



図 1 採捕地点位置図

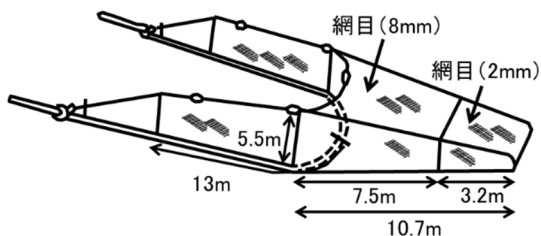


図 2 調査に用いた沖曳網

表 1 ヒウオ採捕結果

	水深(m)	採捕尾数	平均体長(mm)	標準偏差
菖蒲1	2.8	5,098	24.3	3.0
菖蒲2	1.7	1,805	25.9	3.5
萩の浜1	4.6	181	28.9	4.2
萩の浜2	2.3	509	31.4	3.1
沖島1	4.2	7,175	27.1	1.7
沖島2	3.2	13,763	26.7	1.8
全体		28,531	27.4	3.8

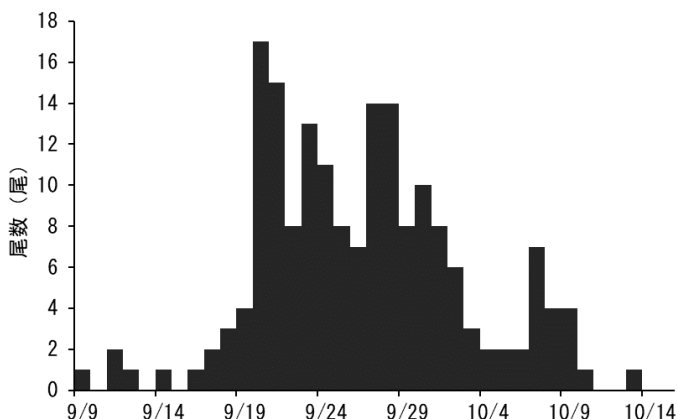


図 3 沖曳網で採捕されたヒウオのふ化日組成 (N=180)